

厚労省運用LIFEからの変更点

- 国保中央会運用LIFEの稼働に当たって、次の機能変更等により、介護事業所・施設に対し、より一層の利便性の向上を図る。
- 主に変更となる点は下記のとおり。後続のスライドに詳細を記載する。

1 バックアップファイルの授受を廃止

バックアップファイルの授受が不要となり、**利便性が向上**



2 電子証明書の導入

電子証明書を用いた端末認証により、**セキュリティが向上**
(介護DX共通)



3 端末認証用の一時パスワード認証の廃止

端末認証用の一時パスワードが不要となり、**利便性が向上**



4 LIFEホームページのリンクからログイン可能

LIFEアイコンの取得が不要となり、**利便性が向上**



5 利用者情報の正確性をチェックする機能の追加

利用者情報の誤りが自動検出でき、**誤登録の防止が可能**
※本機能は、利用者の資格を管理する保険者が介護情報基盤に対応した後に利用が可能となる。



1 バックアップファイルの授受を廃止

- 厚労省運用LIFEは、利用者の個人情報事業所の端末内に保存しているため、操作職員が管理ユーザーと別の端末を利用している場合等では、**個人情報の表示のためにはバックアップファイルの授受が必要であった。**
- 国保中央会運用LIFEでは、利用者の個人情報をLIFEのサーバ上に保持するため、**バックアップファイルの授受が不要**となる。

<管理ユーザーが情報を更新したときの別端末における画面表示>

<厚労省運用LIFE>

管理ユーザーが情報を更新した場合、別の端末では個人情報が表示されない

操作職員

管理ユーザー

バックアップファイル

操作職員

バックアップファイルの取込により、個人情報が復元される

The diagram illustrates the process in the old system. On the left, a management user updates information on their terminal. A red box highlights the name field, with a callout stating that this information is not visible to an operator on a separate terminal. A red arrow labeled 'バックアップファイル' (Backup File) points from the management user's terminal to the operator's terminal. On the right, the operator's terminal shows the updated information, with a callout stating that the information is restored due to the backup file's import.

項目	値
保険者番号	111111
被保険者番号	1234567890
氏名	ああああ ああああ ???? ????
性別	男性
生年月日	1954/10/01
認定日	2024/12/01
介護認定期間	2024/12/01~2027/12/01
要介護度	要介護2
サービス種類	52:介護保健施設サービス
障害高齢者の日常生活自立度	J2

<国保中央会運用LIFE>

バックアップファイルの授受がなくても、他のユーザーの情報更新が自動的に別端末にも反映される。

操作職員

The diagram shows the new system where information updates are automatically synchronized across terminals. A callout states that even without backup file exchange, updates made by one user are automatically reflected on other terminals.

項目	値
保険者番号	111111
被保険者番号	1234567890
氏名	ああああ ああああ ???? ????
性別	男性
生年月日	1954/10/01
認定日	2024/12/01
介護認定期間	2024/12/01~2027/12/01
要介護度	要介護2
サービス種類	52:介護保健施設サービス
障害高齢者の日常生活自立度	J2

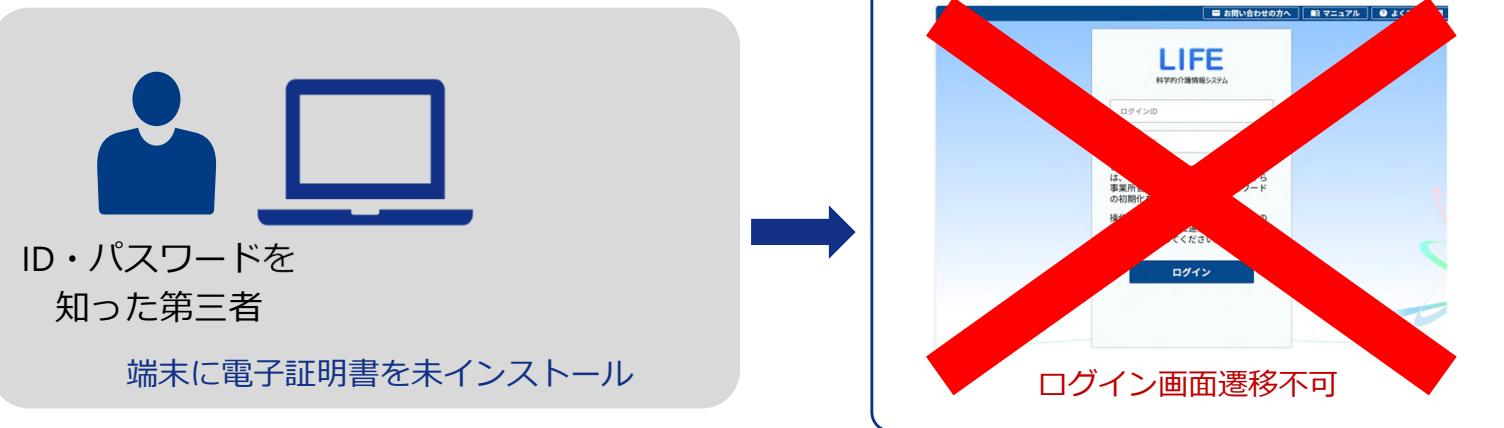
2 電子証明書の導入

- 各介護事業所が安心してLIFEを利用できるよう、セキュリティ向上の仕組みとして、国保中央会運用LIFEでは**電子証明書を用いた認証の仕組みを設ける（介護保険資格確認等WEBサービス同様の仕組みとなる）**。これにより、ID・パスワードを知った第三者によるログインを防止できる。

【国保中央会運用LIFEログインの手順】



【悪意のあるユーザによるログインの場合】

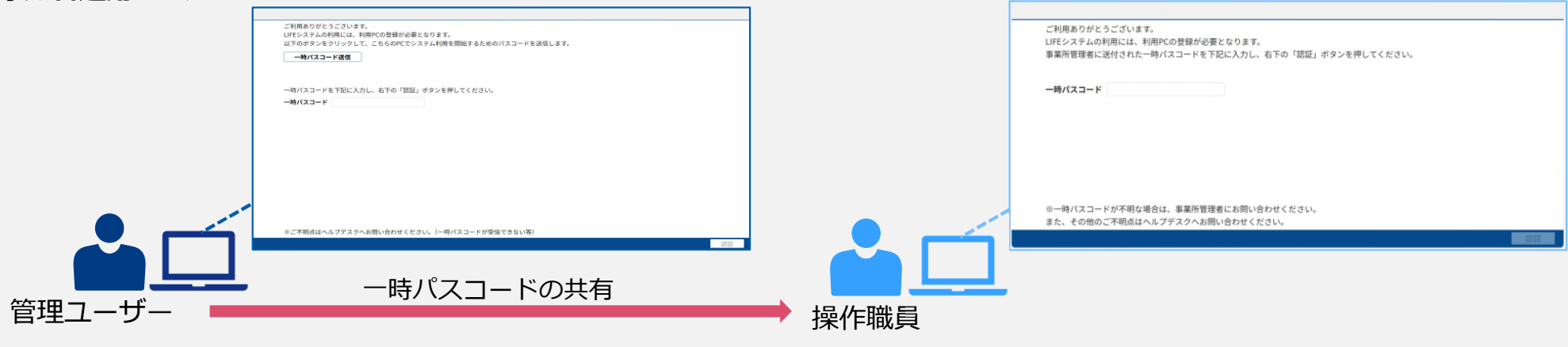


3 端末認証用の一時パスコード認証の廃止

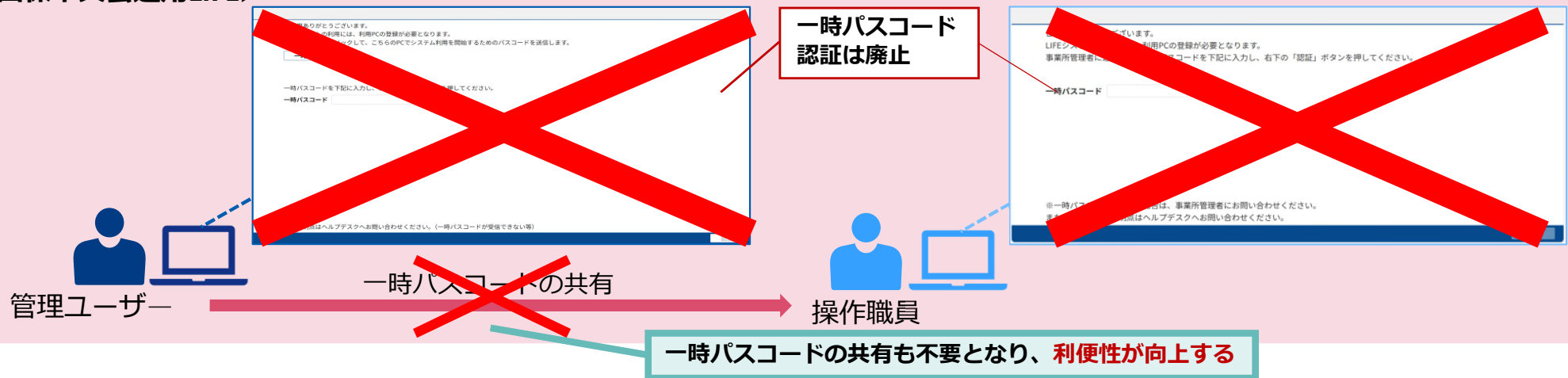
- 厚労省運用LIFEは、端末毎に一時パスコード認証を行う必要があった。
- 国保中央会運用LIFEでは、**一時パスコード認証が不要となる**。

＜一時パスコード認証のイメージ＞

＜厚労省運用LIFE＞



＜国保中央会運用LIFE＞

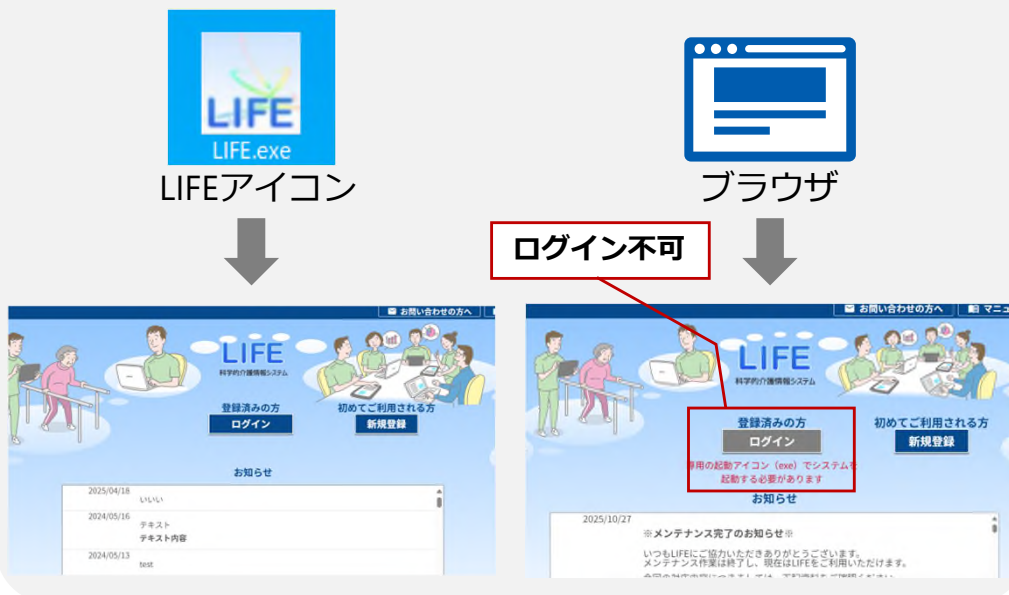


4 LIFEホームページのリンクからログイン可能

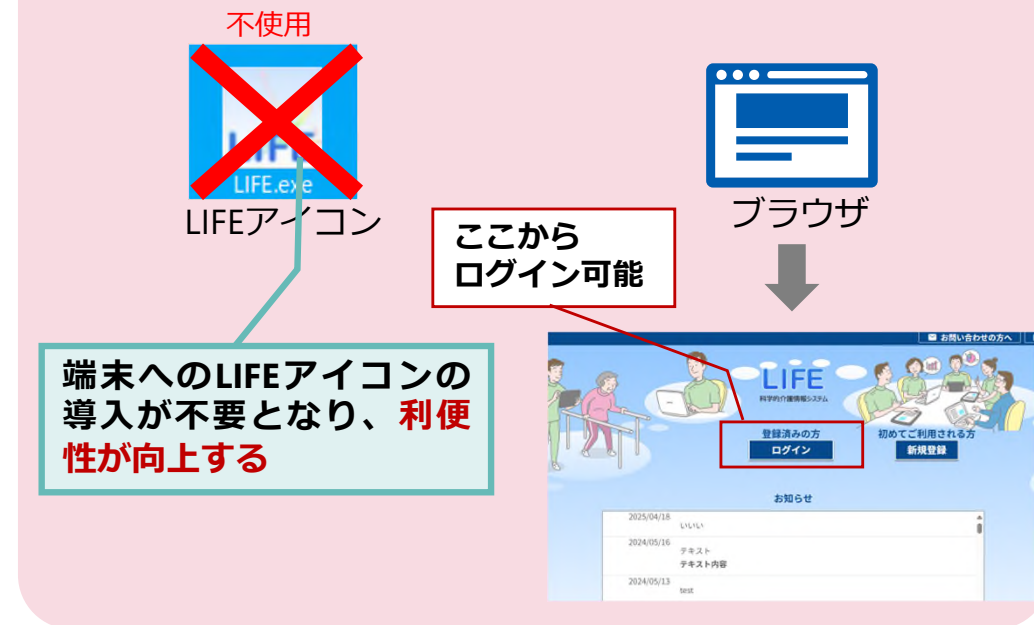
- 厚労省運用LIFEは、各職員の端末に導入した**LIFEアイコン**からログインする必要があった。
- 国保中央会運用LIFEでは、**LIFEホームページのリンクからログイン可能**となり、端末への**LIFEアイコンの導入が不要**になる。

<ログイン時の動作イメージ>

<厚労省運用LIFE>



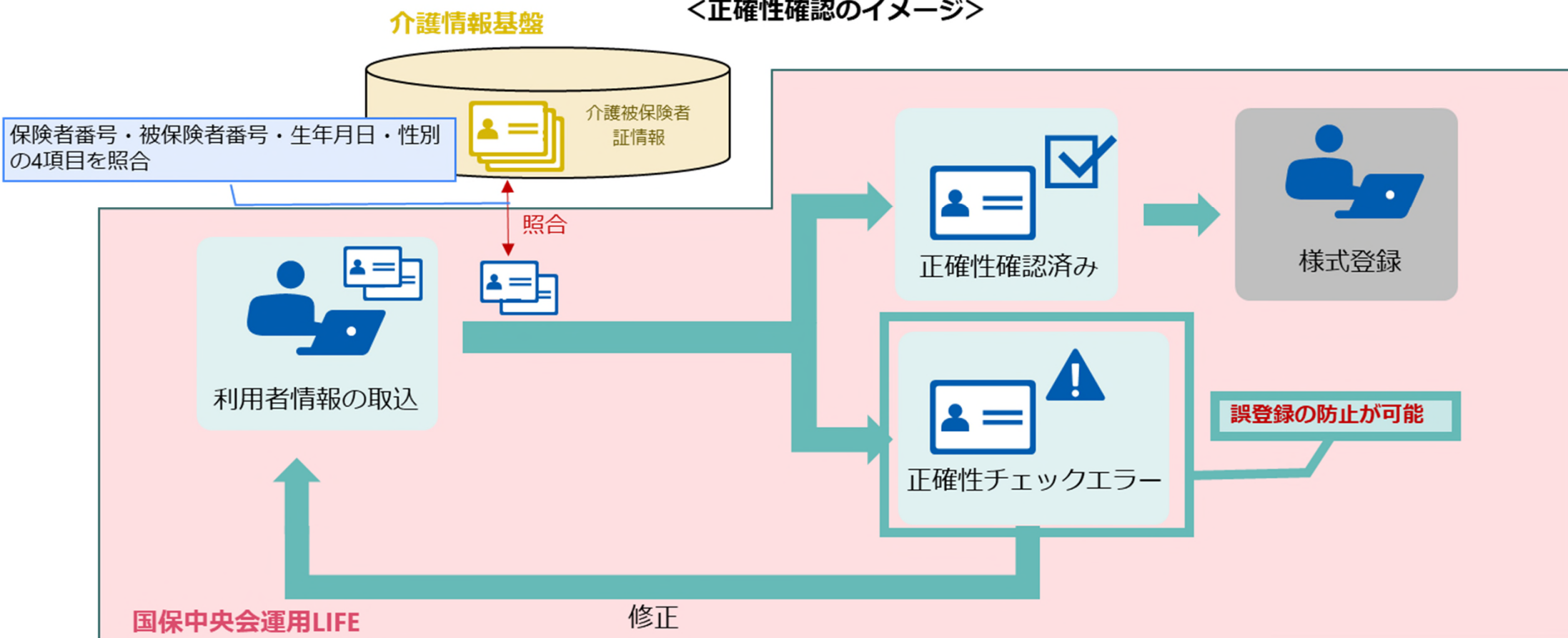
<国保中央会運用LIFE>



5 利用者情報の正確性をチェックするための機能の導入

- 国保中央会運用LIFEでは、新規登録し、又は登録済みの利用者情報について、**介護情報基盤で保有する利用者本人に関する資格情報（介護被保険者証情報）との照合により、被保険者本人であることの正確性を確認する機能**を設ける。
（保険者番号・被保険者番号・生年月日・性別の4項目を照合）
- なお、確認の対象となる被保険者は、介護情報基盤に対応した保険者に属する被保険者のみとなり、未対応の保険者に属する被保険者については、正確性の確認はされない。

<正確性確認のイメージ>



国保中央会運用LIFE利用に当たっての電子証明書の取得について

- 国保中央会運用LIFEの利用には、電子証明書（介護保険証明書 又は 介護DX証明書）が必要です。
- 下記を参考に、事業所・施設において電子証明書の新規取得が必要かどうかを確認し、必要な場合は余裕をもった対応をお願いします。

事前準備 電子証明書の取得

- 国保中央会運用LIFEの利用には、**端末に電子証明書（介護保険証明書 又は 介護DX証明書）**が必要です。
- あなたの事業所・施設が（1）と（2）に該当するか確認をお願いします。

（1）①か②のいずれかに該当

① 電子請求受付システムへログインしレセプト請求をしている

② ケアプランデータ連携システムを利用している

（2）（1）①②で利用している端末と、国保中央会運用LIFEで利用する予定の端末が同じ

- （1）と（2）の両方に該当する場合、電子証明書の取得は**不要**です。
- （1）と（2）のどちらかにしか該当しない場合、電子証明書の取得が**必要**です。介護情報基盤ポータルサイトの「**【別紙】セットアップ手順書（電子証明書編）**」をご確認いただき、**電子証明書をインストール**してください。

● 「**【別紙】セットアップ手順書（電子証明書編）**」掲載先

○ 介護情報基盤ポータルサイト ホームページ > 各種資料 >

<https://www.kaigo-kiban-portal.jp/materials>

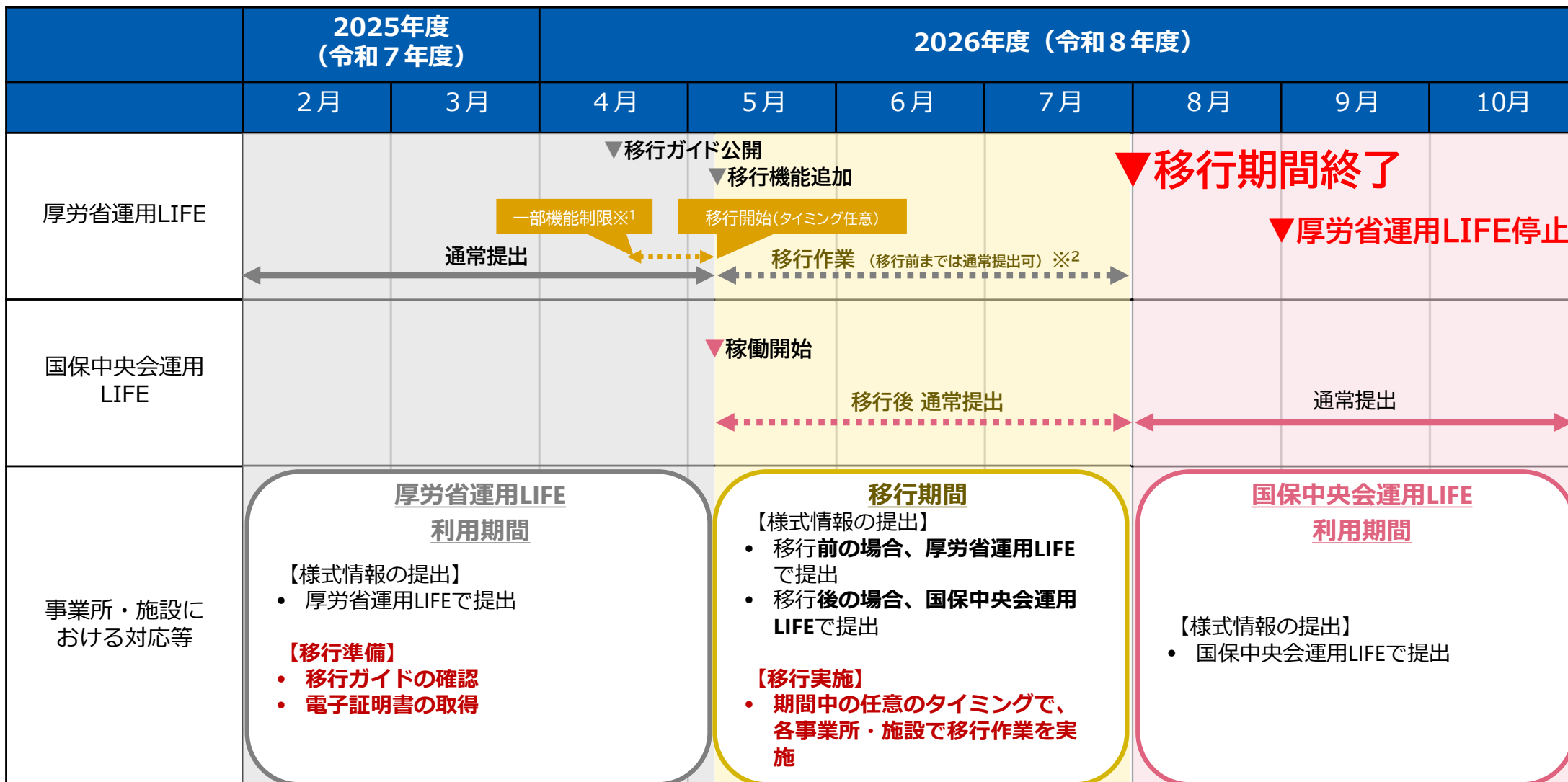
> 導入準備について知る

【別紙】セットアップ手順書（電子証明書）

https://www.kaigo-kiban-portal.jp/assets/pdf/tebiki_besshi_02.pdf

国保中央会運用LIFE稼働に係るスケジュール

- 令和8年5月11日に、国保中央会が運用する国保中央会運用LIFE が稼働開始予定である。
- 各事業所・施設においては、5月11日から7月31日は移行期間として、厚労省運用LIFEからの移行作業が必要です。



※1 厚労省運用LIFEで登録済みの事業所サービス情報及び利用者情報の削除、事業所の新規利用申請が制限される(4月下旬頃に厚労省運用LIFEのDB上で保有する一部データを国保中央会運用LIFEに移行するため)
 ※2 移行後の厚労省運用LIFEではデータの参照のみ可能